

夏の草花

大 岩 金

日ましに暑さがきびしくなりますので日中花園を散歩するなどの事は自然と少なくなりませす。しかしこの時でも朝、晝、夕にそれ／＼の花が人まら顔に咲き匂つて居ります。

以下我流に二、三通の方面からみてその栽培法のあらましを申し上げます。

一、涼しい感じのする草花

色から申しますと夏はあつさりとした白色系のもものが涼しい感じが致します。

次に草姿から申しますればあまりごて／＼しない又花物よりも葉物即ち観葉植物の方がよくこの

感じがあらはれると思ひます。

(イ) アスバラガス

百五十種からの種類がありますがその多くは宿根性で、観葉を主として居りますが中に一種食用に供せられるものがあります。

観葉の中で最も普通に栽培されて居りますのは、アスバラガスブルモーサスナナスとアスバラガスブレンゲリーとでありまして前者は直立後者は垂下致します。いづれも初夏の候から新緑の細かい葉を密生しまして嚴冬に至りましても少し保護してやりますれば緑葉を保つのであります。かくて初夏の候になりますれば葉腋に極細かい白

花を點々と開きますので又いひ難い涼味をそへるのであります。これがやがて秋冬になりまして色々の果實の熟する頃となりますれば同じく赤い皮をかぶつた實となりまして又一段の風趣をそへるのであります。

さてその栽培法は誠に容易であります。播種、株分いづれによりましても出來ます。播種する場合には熟した果實の皮をむき三寸鉢に二、三粒づゝ埋めておきますれば凡そ一ヶ月位で發芽致します。是に油粕等の液肥を時に施してやりますれば漸次株を張つて參りますから鉢をゆるめてやればよいのであります。かくて夏はあまり日光の直射しない場所におき充分に灌水してやり、冬はフィルム又は南側の縁側等において保護してやれば更によいのであります。

(ロ) アヂアンタム

アスバラガスと同様に鉢としても切花のそへと

しましても夏は勿論年中觀賞されます。これは葉の幅廣く葉柄は赤黒色をして居ります。夏は比較的日蔭におくことが大切であり又水も充分にやつて常に緑したゝるばかりの状態を保たすのでなければ眞のこの葉の妙味は現はれないのであります。

栽培法はアスバラガスと略同様であります。この方は結實しないで葉の裏に胞子を生じ之によつても繁殖出來ますが普通には株分に依つて居ります。又直射光線をさける爲柵下などにおく事もありませんが之はなるべくさけた方がよいと思ひます。即ち柵上の植物に灌水した場合鉢を通つた汚水などの爲に應々その綠葉を汚すおそれがあります。

(ハ) ちりづるらん

白い斑の入つた細長いつつとした葉を根際近く群がらせたその中から長い數本の匍枝を抜き出し

てその先に又葉と根を生ずるのであります。又この間に春には小さい白花をも開くのであります。是を鉢植とし高所において匍枝を垂下させました様は丁度折鶴をつるした感じが致しますからかく名づけたのではありますまいか。花はさまざま觀賞する程のものでもありませんがこの葉色と草姿がなか／＼面白いものであります。

このおりづるらんは常緑の宿根性でありますが寒さには比較的弱く東京邊では露地は勿論鉢植にしましたものでも太い白い根が寒さのために應々腐るのであります。それ故冬期はフレーム又は温室内にとり込まなければ常緑を維持し難いのであります。かくして冬を越しましたものは又陽春の候になりますと新たに匍枝や、葉、根などを發生しますから是はやがて繁殖用ともなり得るのであります。その方法は匍枝の先端に生じましたものの根の部分了他の小さい鉢に土を盛りました中に

埋めておきます時は旬日の中によくその鉢内に根を固定して參りますからこの時に至り親木から切斷すればよいのであります。その後の管理はアヌバラガスなどと大同小異であります。

(二) 風知草

一名うらはぐさとも申します。外觀は笹の葉に似て丈低く叢生して居りますので鉢植としましたもので光澤を帯びて居りますので鉢植としましたものなどは朝な夕なの風が来りますやその吹くまゝになほやかに右に左にうちそよぐ風情は夏の暑さも一時は打忘られるばかりの感じがするものであります。

この風知草は極めて株張りのよいものであります。春秋いづれかに適宜小分しますればいくつにも繁殖させる事が出来ます。又川邊の石垣などにも自生してゐる事もあり中にも箱根方面には澤山ありますから折もありますれば採集して參りまして

鉢に植ゑておきますればよい盆栽が出来ます。

盆栽として觀賞しますくなるべく丈を低く致しますには春先伸びました芽を一度早く刈り取るのであります。かくて夏中眺め秋末になりまして葉が枯れて參りましたならば根元から刈り取り之を縁側の下などに置き越冬させて次の春を待つのであります。

(ホ) 鋸 草

高さ二、三尺で葉は地上に廣く擴がりその形は丁度鋸の如く左右から深く分裂して居ります。その葉間から長い花梗を抜き出して直徑三四分の白い頭状花を平に群成しました様は夏の切花として結構なものであります。それに暑眞盛りに綠葉の土の見えない迄に繁茂しました點はどんなにか涼を増す事とせう。

性質も極めて丈夫でありまして春秋いづれかに株分致しますれば是またいくつにでも繁殖させる

事が出来まして特に施肥の必要もない位なものであります。花色は普通には白でありますが淡紅色をしたものもあります。

二、時に従つて開く草花

一般の草花はその始めは朝に開いて夕方にしぼむのが普通でありますがかゝに擧げます花の如きは夫々特有の開花時刻を持つて居りますから是等數種をとり交せて植ゑておきますれば朝、晝、夕それ〴〵に異なつた開花が見られる譯であります。

(イ) 朝 顔

今更事あたらしく申上げます程のものではありませんがさてこの栽培法に就きましてはなかく、それ専門にしてゐる方も澤山あります程に餘程むつかしい物らしく到底その邊に到りましては私共には及びませんから極普通の作り方のみを簡單に

申し上げまして鉢なり垣根なりに數本仕立てまして朝の目ざまし用に栽培されます事をお進め致します。

こゝには鉢仕立にする方法を申し述べまして垣根仕立は之に準じて蔓をのびしてゆく事に致しませう。

まづ朝顔は是を二大別致しまして一つは大輪咲、一つは狂咲とて花輪の大小を問はず花や葉の奇形なのを主眼とするのでありますが子供は勿論大人でも我々素人作りには大輪咲の方が栽培し易くてよいかと思ひます。

播種期は他の一般の春蒔草花のそれよりも少しおくらして八十八夜前後即ち五月初めにするのであります。播種して凡そ一週間位で發芽致しますから二葉が出揃ひましたならばなるべく早く本葉の出ない中に第一回の移植を致します。用土は普通の草花の時と同様でよろしく水排はよいものを

選びます。かくて始め二、三日は日蔭におきまして日光の直射をさけその後は漸次日光に當て終には充分に日照に當てて夕刻は又充分に灌水し又晝間はよく日に當ててやります。このやうにして一週一度か二度位宛油粕の腐汁の稀めたものを灌水の代りに施肥致します。この時肥料が葉にかゝるやうな事がありましたならば更に水で洗ひ落してやります。又雨天の際にはね上つた泥も同様洗ひ落してやるのであります。かく注意してやります時は終りまでよくその二葉を落さないで居るのであります朝顔作りはこの二葉の存在してゐる事を重大視してゐるのであります。かくして次第に根が鉢内に一杯になり底穴からのぞやうにもなりましたならば次の大鉢に移し又よく肥培して鉢を三回位ゆるめて最後の留鉢が凡そ五、六寸大になるやうにすればよいのであります。

莖の伸びるに従つて葉も次第に數を増し又その

葉腋からは側芽も生じて來るのでありますがその親蔓が五、六寸になりましてもまだ葉腋に生じた芽が蓄てなく葉芽であります時は根元から二芽を残して心を切り去ります。かくて根元に近い丈夫な芽を一本伸ばして他は摘除し残した一本を前の如く培養して參ります。それが數寸になりまして

今度は蓄がみえますれば三四個を置いて心を留め次の豫備枝一本を根元に近くのばしてゆき尙蓄の着かない時は更に二芽を置いて切り直しかく繰り返すこと數回のうちにはやがて花蓄の生ずるものであります。このやうに致しまして充分の施肥と日照とに依りまして大きな美花が觀賞出來るのであります。開花致しましたものは日かげにあげばかなり長くしほまないで居りますがかくしては次の花の爲によくありませんから採種用以外には十時頃になりましたならばその日の花は切りとり日かげにおきましたものもよく日照に當てゝやるや

うに致します。その他の注意と致しましては朝顔も他の草花と同様肥料は回數を等くしても度毎やる濃さは濃厚なものよりも稀いものの方がよろしく、又害虫に對する注意もゆるがせにはなりません。一般には被害は少ない方ではありますが應々にして蚜蟲や夜盜蟲におかされる事があります。

(ロ) 松葉ぼたん

夏日燦然としてかよわい草花は凋れんばかりの中に時も笑顔に只この日中にのみ咲き誇るのはこの松葉ぼたんであります。わけても砂利、敷石などの如き他のものゝ容易に成育し難いやうな所を特に好んで繁茂するのであります。それ故に日常のよい玄關の踏石脇や砂利の中などに群成又は散在させます時はどんなにか外出歸りの家人や又客人などの目を樂ませます事とせう。

その葉は名の如く松葉のそれに似て居りますが太く短く多肉で花は直徑一寸内外で一見牡丹の如

く一重も八重もあり花色には白、黄赤、桃、綾りなど各種類あります。

栽培法は極めて容易でありますして四月上、中旬に播種しその後は間引又は他に移植して適當の距離にすればよいのであります。只前にも申しました通り日照のよい事が最も肝要なのであります。繁殖は播種の外伸びた枝を切り取つて挿木しても容易に活着するのであります。只種子は極めて小さく熟しますと上下に裂けて直ちに飛散し採種出來なくなりますからその期を逸しないやうにしなければなりません。

(ハ) 月見草

まつよい草とも申しますが誠に優しい名前ではありませんか。原野、川原、堤などに自生して居りますが現今では庭にもなか／＼澤山植込込まれて居ります。

高さは二、三尺で線狀披針形の鋸齒をもつた葉

の脇から黄色の花が夏の夕方を待つて開きます。この風情もなか／＼涼味を感じさせるものであります。

草性は極めて丈夫でありますからいづれの土質にもよく成育致しまして又繁殖力も大なるものでありますして一株掘り取つて參りますれば容易に殖やす事が出來ます。その時期は春秋いづれかにして花のない時がよいのであります。その外播種致しましてよく發芽致します。

三、香をもつた草花

夏の鉢植や花園には芳香をもつた草花を栽植しておきます事も意義ある事ではないかと思ひまして二つをあげる事に致しました。

(イ) ヘリオトロプ

和名を香水草と申しまして花が誠によい香をもつて居ります。莖はやゝ木質化して居りまして葉

には鋸齒をもつて居ります。花は莖の先端に紫色の小さいのを多数群成して居りまして冬でもフロム中に入れておきます時は開花して居ります。

栽培法は極めて容易でありまして冬期フロム又は温室内に入れる外他の草花の栽培法と異なりません。

それ故少しでも栽培しておきますれば常にその周囲は芳香がたゞよつてゐるわけであります。繁殖は挿木に依つて容易に活着致しますから八、九月頃新梢を切りとり是を挿床に挿しておけばよいのであります。

(ロ) ランタナ

前者の花に芳香を有つてゐる代りには葉に香をもつて居ります。しかし前者程よい香ではありません。

木の性状は極めてよく似て居りますけれども更に一層木質化して大きくなればヘリオトロープの

五六寸に比し二、三尺にも伸びます。盛花の時期は同じく夏から秋にかけてでありまして色は赤褐色が普通であります。栽培法はみなヘリオトロープと同様であります。

四、花園に栽植してよい草花

夏の花園は自然となほざり勝になり易い傾きがありますから植ゑます草花を選びますにもこの點に留意して、一つには草性が丈夫で施肥灌水等の少し位は不足しても堪へられるもの、今一つには暑さに丈夫なもの、又病蟲害に對して抵抗力の強いものである事等が條件であります。以下に花壇用とし又は切花用として植ゑておいてよい草花名を少し擧げてみませう。栽培法は略す事に致します。ハルシヤギク、萬壽菊、クジャク草、金鶏菊、百日草、千日紅、ルコウ草、水仙翁、カカリヤ、ヒマハリ、ホーセンカ、貝殻草、コバンサウ

但し前掲のものは除く